



知事が行く!  
突撃取材! Part2  
～三重のひと～

第24回

～新規就農者を応援～

# 誰もが魅力を感じる 農業をめざして

## インタビュー詳細版

(お話いただいた方)

株式会社浅井農園

代表取締役

あさい ゆういちろう  
浅井 雄一郎さん

(聞き手)

三重県知事

鈴木 英敬



あさい ゆういちろう  
浅井 雄一郎さん

**知事:** 浅井さんにお聞きします。三重県で農業に取り組むメリットは何でしょうか。

**浅井:** 三重県は気候が温暖で日射量も多く、農業に適した地域です。中京圏や関西圏も近く、東京までの物流面でも優れています。また、三重県はコンパクトな地域の中で産学官連携が進んでいます。当社が経験のない農業に取り組むことができたのは、産学官の皆さんの応援があったからです。さまざまな方にアドバイスをいただき、助けてもらいましたね。

**知事:** なるほど。では今後、浅井さんが日本の農業を盛り上げていくために取り組んでいきたいことを教えてください。

**浅井:** 農業は、一人で行う時代から、少なくとも家族、そして家族の枠を超えて組織をつくり強くなっていく必要があると思います。農業は一年に一作しかできませんので、一人でできることは限られます。そういう意味では、地域や組織で試行錯誤したノウハウを共有し、成長していく取り組みが大事だと思います。私たちは、研究開発から生産・流通までを自社で一貫して行える組織をつくり、「常に現場を科学する研究開発型の農業カンパニー」をめざしていきたくと考えています。

**知事:** それは心強いですね。三重県には毎年、約140人の新規就農者の方がいます。その内、約8割が農業法人



浅井さんの案内でトマトの品種育成を行う研究棟を見学しました。

に勤められて農業を始めます。浅井さんのように雇用力のある農業法人が増えるのは県としてもありがたいですね。では、新規就農者の皆さんが農業に取り組む上で必要なことは何でしょうか。

**浅井：**あえていうなら農業が好きということですね。経験がない人の方が、逆に、いろいろな技術なり知識を吸収して活躍してくれますね。

**知事：**なるほど、それは大事ですね。それでは若き就農者を増やすために、どのようなことが必要だと思いますか。

**浅井：**そうですね。農業が好きな人にとっては、非常に面白い仕事ですが面白いだけでは続きません。経済的にもきちんと自立ができて続けていける環境づくりが重要だと思います。だからこそ、楽しい面だけを伝えて就農を促すだけでなく、どうすれば適切な収入が得られ、家族みんなが幸せになれるかということ伝えていかなければならないと思っています。

**知事：**ありがとうございます。農業は種を植えてから成果物が出来上がるまでに時間がかかるので、成果が出るまでの期間を、どういうふうに工夫できるかが大切なんですね。

県では、就農を考える皆さんに、県内の先進的農業法人で働きながら、本格的に農業ビジネスを学ぶことができる「みえ農業版MBA養成塾」を4月に開設します。浅井さんをはじめ、県内の農業経営者の皆さんと連携し支援をしていきたいと考えています。

**浅井：**はい、「みえ農業版MBA養成塾」には三重県のトップランナーの農業経営者の皆さんが協力してい



三重大学で博士号を取得し、研究員として働く<sup>つと</sup>呉さんは、海外の販路開拓などに取り組まれています。



東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、安全な農産物の生産につなげる「グローバル<sup>ギャップ</sup>GAP認証」を取得し、海外への販路を広げたいと言います。



ヨーロッパで流行しているトマトなど研究中のトマトを試食。どれもおいしく商品化が楽しみです。



「最先端のハウスでのトマト作りが大好き」というハイダーさん。



ます。そこできちんと研修をして就農に向けて取り組むことは、とてもよい経験になると思います。三重大学もサポートしてくれますし、すごくぜいたくなコースだなと思います。

**知事：**それでは最後に、未来の農業を担う若い世代の人たちに農業の魅力や可能性についてメッセージをお願いします。

**浅井：**そうですね。農業にはチャンスがあると思います。農業に従事する人の平均年齢は70歳と高齢化しているので、どんどん若い人たちに入ってきてほしいとも考えています。ただ、そのためには技術面や資金面でしっかりとした準備を整えていることが大事です。私たちが就農して10年選手となってきましたので若い人たちの力になりたいと思っています。みんなで幸せな農業経営ができるよう、一緒に三重県の農業を盛り上げていきましょう。

**知事：**今日はどうもありがとうございました。

**浅井：**ありがとうございました。



※インタビューの内容は、読みやすさの観点から一部要約等を行っています。

※記載内容、写真の無断転載を禁じます。

※内容に関するご意見・お問い合わせは、三重県戦略企画部広聴広報課まで

〒514-8570三重県津市広明町13

☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032

E-mail koho@pref.mie.jp